



## 自主防災団体連絡協議会だより <第49号>

### 1 共助による復興支援活動を円滑に行うための拠点

～八王子市災害ボランティアセンターについて～

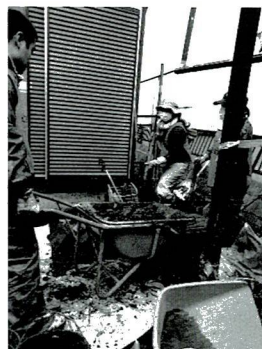
災害ボランティアが社会的に注目されるようになったのは、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災です。

この震災では、多くの国民が全国から駆け付け、震災直後の1年間で138万人、多い時で1日2万人がボランティア活動に参加し、この年は後に「ボランティア元年」と呼ばれるようになりました。その後も毎年のように全国各地で豪雨災害や地震災害が起き、広域から駆け付けるボランティアによる支援活動の重要性が増したことにより、全国的なネットワークを有し日頃から地域社会と地域福祉の推進に取り組んでいる社会福祉協議会(以下、「社協」という。)の役割として、災害ボランティアセンターを開設しボランティアのコーディネートを行うことが一般化されました。

八王子市においても、共助による復興支援活動を円滑に行うための拠点である災害ボランティアセンターの立上運営の体制づくりを行っております。2019年の令和元年東日本台風の被災の際には、市民の皆さまをはじめ行政や各種団体とともに社協が運営する災害ボランティアセンターを中心に、被災された方や被災地域のニーズに基づき全国から駆け付けた1,700名を超えるボランティアの皆さまと復旧活動を実施しました。

災害の被害を最小限に抑える為には、自助・共助・公助それぞれが、災害対応力を高め、連携することが大切です。その中で共助における外部からのチカラである災害ボランティアの需給調整を担う災害ボランティアセンターとその運営を担う社協について日頃から地域での自主防災活動に関わる皆さまにご理解いただき、地域住民にお伝えいただければと考えております。なお、南多摩地域(八王子・町田・日野・多摩・稲城)5市のボランティア担当の社協職員が、災害ボランティア活動への参加促進やコロナ禍での三密回避の事前オリエンテーション資料として、動画を作成しました。災害ボランティアセンターの概要や活動内容を紹介するものとなっておりますので、ぜひご視聴いただけると幸いです。

令和元年東日本台風でのボランティア受付の様子(浅川事務所)



#### 【動画一覧】

- ①災害ボランティアセンターって何(3分22秒)
- ②災害ボランティア活動の流れ(7分05秒)
- ③災害ボランティア活動の心得(7分56秒)

右記QRコードからご視聴いただけます



社会福祉法人 八王子市社会福祉協議会  
市民力支援課長

## 2 各事業の実施状況



本所防災館・都市型水害体験



第1回特別救命講習会・総合訓練

今年度は新規研修先として、本所防災館（東京消防庁都民防災教育センター）を訪問しました。参加者の方には新たにリニューアルした地震体験や水圧でドアが開けられなくなることを学ぶ都市型水害体験をしていただきました。

東日本大震災や阪神・淡路大震災をリアルにシミュレーションした地震体験では、参加者から直下型地震のすごさに驚きの声があがりました。都市型水害体験では高さ20cm程度の浸水深でも、水圧でドアが開けられなくなる可能性があることを実体験することができました。本所防災館では、今回の研修において体験したコーナー以外にも多数の防災体験コーナーが用意されています。是非、ご家族やご友人と一緒に訪問していただきたいと思います。

また、第1回特別救命講習会では、午前は普通救命講習を開催し、午後は2年ぶりに八王子消防署の講師を招き、実践的な救命処置対応訓練を行いました。最後には八王子消防署猪股消防司令補の指揮のもと、各自主防災組織代表者の混成チームで総合訓練を実施しました。地震発生！倒壊家屋に挟まれたけが人を発見後、速やかに119番通報、早期にけが人を倒壊家屋から救出、迅速な応急手当処置を行い、毛布を活用した応急担架でけが人を無事安全な場所まで搬送することができました。

同署地域防災担当係長の榊原司令の講評では、「その場に居合わせた初めて出会った人たちでも、みんなで協力すれば消防隊の到着を待つことなく、けが人を助けることができる。災害時にはその一步を踏み出す勇気と共助の力がとても大切だ！」とのお話をいただきました。

実施日	事業名	実施日	事業名
9月4日（土）	立川防災館研修	11月18日（木）	南多摩総合防災施設視察研修
10月16日（土）	第1回特別救命講習会	12月4日（土）	本所防災館研修
11月10日（水）	そなエリア東京	12月18日（土）	第2回防災指導員育成研修会

## 3 令和3年度八王子市総合防災訓練について

八王子市・八王子市防災会議は令和3年12月12日（日）に、八王子市立打越中学校及び由井第一小学校において、令和3年度（2021年度）八王子市総合防災訓練を開催し、当協議会の遠藤会長も八王子市防災会議の委員として訓練に出席しました。

打越中学校及び由井第一小学校ではマグニチュード7.3規模の首都直下地震が発生した想定で、シェイクアウト訓練、救出救助訓練及び北野地区町会自治会連合会の自主防災組織を中心とした方々と感染症を踏まえた避難所運営訓練等を行いました。また、都営長沼町アパートでは風水害を想定し、長沼都営自治会防災会のご協力のもと、空き住戸を活用した緊急避難先開設訓練を実施しました。



北野地区町会自治会連合会の自主防災隊の皆様



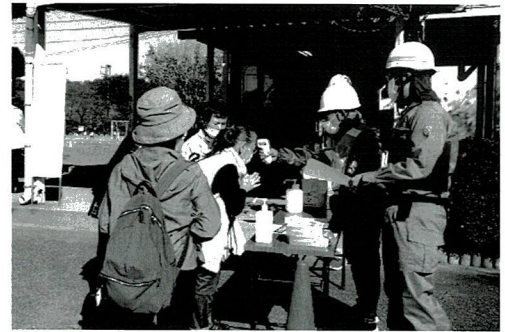
長沼都営自治会防災会の皆様

## 「コロナ禍での避難訓練」と普段の取組について

中野町甲和会自主防災部長 田畑 修

私達、中野町甲和会自主防災部は630世帯で構成された町会の中で、毎年、防災訓練を開催し町会の皆様の防災意識の向上を図っております。自主防災部としての年間活動としては月1回の防災倉庫内外の清掃と資器材点検をし、災害が発生した時にすぐ使用できるようにしています。

また、当町会では平成25年に近隣の工学院大学との防災・減災対策の協定が締結されたことから協力し、防災訓練の実施、また市防災課、大学と協同して地域のハザードマップの作成作業をして町会各戸に配布し不時の災害に備えております。



そして、コロナ禍ではありますが、緊急事態宣言が解除されて間もない本年10月24日(日)中野山王の清水小学校体育館において、避難所への避難訓練を計画し実施しました。

今回の訓練を実施するに至った経緯は令和元年10月12日から13日にかけて関東地方に上陸した令和元年東日本台風でした。当地区では被害こそありませんでしたが中野北小学校が一時避難場所として開設され、その後、甲ノ原中学校と甲の原体育館が初めて一時避難場所として開設されました。町会として支援をすることはなかったのですが、一度訓練しておく必要があると思い今回の訓練を実施することとなりました。

今回の訓練は市防災課の方達と共にご指導を受けながら実施しました。コロナ禍であるので都及び市のガイドラインに沿い感染対策を図りながら訓練を進行しました。まず、体育館の外に問診、検温、感染防止を行う事前受付を設置し、参加者(避難者)はまずそこを通り、問題がなければ体育館内に上履きを持って(ビニール袋に入れて)入ります。そして、体育館内の本受付で避難者カードを記載して、銀マットが等間隔で敷かれた避難スペースに案内した後、町会長挨拶、来賓挨拶をなし、市防災課の方達の防災講演、消防団の方達のAED訓練、最後に本訓練のアンケートを回収して、一連の流れを終えました。本来であればもっと実災害を想定したものにすれば良かったかもしれませんが、これを手始めに訓練を積み重ね、地域の防災・減災の意識向上に向け開催していきたいと思っております。



## 記事募集


このコーナーでは、各自主防災組織の取組等を紹介しています。紹介記事を随時募集しておりますので、各団体が実施する防災訓練等の行事、防災減災の取組及び防災に関する経験談や意見等を事務局までお寄せください

## 5. デジタルツール（防災情報メール・アプリ）を使ってみよう！

**☞ 防災情報メール！**

パソコン、携帯電話、スマートフォンに防災情報を配信します。平常時には概ねひと月に1回、防災情報や防災イベントのお知らせを、また、大地震が発生したときや風水害等により災害が発生する恐れがあるときなどは、随時、災害情報や気象情報を配信します。

<https://service.sugumail.com/icho/>



**☞ 防災行政無線アプリ「コスモキャスト」！**

防災行政無線は災害時に発表するさまざまな防災情報を伝えるため市内各地に設置しています。放送内容はスマートフォンアプリ「コスモキャスト」でも確認することができます。

Android版  
スマートフォンアプリ  
ダウンロードサイト



iOS版  
スマートフォンアプリ  
ダウンロードサイト



## 6 八王子消防署からのお知らせ ～電気ストーブ火災・たばこ火災を防ごう～

### 1 ストーブ



令和2年中に「ストーブ」を原因として発生した住宅火災は81件で、9人の死者が発生しています。また、9人の死者のうち8人が「電気ストーブ」、1人が「ガスストーブ」でなくなっています。「ストーブ」のまわりには、衣類や寝具類、紙等の可燃物を置かないようにしましょう。

### 2 たばこ



令和2年度中に死者が発生した住宅火災で一番多い出火原因は、「たばこ」です。火源が落下して、衣類や布団、座布団等の可燃物に着火し、火災に至った事案が大半を占めています。「寝たばこを絶対にしない」ということを徹底し、防災品のシーツや掛け布団カバーを使用しましょう。

問合せ先 八王子消防署警防課防災安全係（地域防災担当）  
電話：042-625-0119

## 7 降雪期を踏まえて

これからの降雪期を踏まえて、「八王子市総合防災ガイドブック第2版」23ページに掲載されている大雪時における対応を、今一度ご確認ください。

### □ 自宅前の雪かきにご協力を！

生活道路の除雪は市民の皆さんの協力のもとに成り立っています。近所の方々と協力して除雪にご協力をお願いします。

### □ 路上駐車はやめましょう！

路上に車があると除雪ができないこともあります。緊急車両やバス等の通行に支障をきたすことがありますので、路上駐車に気を付けましょう。

### □ 消火栓周辺の除雪を！

消火栓が雪で覆われてしまうと、火災発生時に消火活動の支障となります。除雪の際は移動した雪で消火栓が埋まらないようにするとともに、お近くの消火栓周辺の除雪にご協力をお願いします。



### 防災資器材の点検をしよう！

防災倉庫に資器材を用意しても、いざというときに使用できなければ意味がありません。定期的に点検し動作の確認や燃料の補充を行いましょ。また、防災訓練や町会活動で使用し操作方法も習熟しましょう！

- ☑ 防災倉庫内の整理整頓
- ☑ 使用期限と消費期限の確認
- ☑ 機械系と電子機器系の動作確認など

### 発行：八王子市自主防災団体連絡協議会

問合せ先 事務局(市生活安全部防災課内)  
(直通)620-7207 電子データを希望の会員は事務局までご連絡ください。  
メール:b210300@city.hachioji.tokyo.jp